

6年ぶりの  
丸亀ナイターSG

第70回

ボートレース  
X MEMORIAL

BOAT RACE  
MEMORIAL

8/27(火)▶9/1(日) ボートレース丸亀  
昨秋のダービーに続き、節目となる第70回を迎える  
伝統のメモリアル。しばらくSG開催のなかった丸  
亀ナイターに、全国24場から推薦された強豪が馳  
せ参じる。今年は歴史に残る猛暑が続き、機力調  
整が格段に難しいと評判だが、真夏の王座に君臨  
する選手は誰だ!?

# BOAT RACE MEMORIAL

## 出場選手をあえて グループ分けしてみると…

夏の締めくくりとともに、今年の後半戦を占うのもこの1戦。近況はもちろんだが、夏季の強さにも重きを置いて、出場選手の戦力分析を試みよう。

表1-1 優勝候補・トップ10

推薦場など	登番	選手名	支部	勝率	出場回数
桐生	4238	毒島 誠	群馬	7.76	13年連続14回目
戸田	4444	桐生 順平	埼玉	7.88	12年連続12回目
浜名湖	3960	菊地 孝平	静岡	7.61	9年連続19回目
常滑	3941	池田 浩二	愛知	8.18	4年連続22回目
びわこ	4262	馬場 貴也	滋賀	7.68	7年連続9回目
住之江	4168	石野 貴之	大阪	7.04	2年連続10回目
児島	4418	茅原 悠紀	岡山	7.96	4年連続10回目
宮島	4205	山口 剛	広島	7.87	3年連続14回目
唐津	4320	峰 竜太	佐賀	8.39	3年ぶり11回目
唐津	4445	宮地 元輝	佐賀	6.88	2年連続2回目

(成績対象期間:2023/6/1~2024/5/31)



今年の賞金トップ・毒島誠は21年の当地甲子園も圧勝

### 毒島誠・馬場貴也らのV候補

今年の賞金トップを快走している毒島誠は、7月の全国ボートレース甲子園(G II)も圧勝。このメモリアルは既に3回優勝しており、夏場の調整力は際立つ。また後述するように、丸亀との相性も抜群で、ほぼ死角がない。

昨年の当レース覇者・馬場貴也も、毎年夏から秋にかけてリズムアップ。伝家の宝刀・まくり差しの切れ味も増す。円熟味を増している池田浩二は、昨夏もグラチャン→甲子園→オーシャンカップと3連続優出。これまた夏場の調整力に長けている。

今年はまだSGで優出がない峰竜太も「そろそろ」というところだが、同じ唐津推薦の宮地元輝が不気味な存在に。オールスター→グラチャンと連続優出。気迫の中に冷静なさばきも兼ね備えている。



池田浩二の昨年夏季の勝率は8点オーバー



充実一途の宮地元輝。気合満点の走りを持ち味

### 初出場で名前を売る! 5選手



今年は絶好調でSG初出場を果たした佐藤隆太郎

今年の初出場は右表の5選手。佐藤隆太郎はSG初参戦となる。上條暢嵩が初出場とは少々意外だ。“重鎮”の多い住之江だけに、同場の推薦を受けるのは難しいという事情もあったのだろう。他のSGには既に5年前から出場しており、一昨年はグランプリにも駒を進めた。先日のグラチャンでも優出⑤と頂上も見えてきただけに、初出場でも侮れない。

オールスターを快勝した定松勇樹は、続

くグラチャンでは初日の第1走で落水して途中帰郷したため、このメモリアルで“仕切り直し”となる。

宮之原輝紀は昨年大きな飛躍を見せ、今年のクラシックでも優出。平和島のみならず、東京支部の新エースとしての期待が膨らむ。

表1-2 初出場の5人衆

推薦場など	登番	選手名	支部	勝率	出場回数
平和島	4939	宮之原輝紀	東京	7.67	初出場
多摩川	4847	佐藤隆太郎	東京	6.94	初出場
三国	4961	西橋 奈未	福井	6.73	初出場
施行者希望	5121	定松 勇樹	佐賀	7.27	初出場
施行者希望	4719	上條 暢嵩	大阪	7.57	初出場

# ポールの王

## 虎視眈々と目を光らせる『第二集団』

表1-4 セカンドグループ

推薦場など	登番	選手名	支部	勝率	出場回数
桐生	4851	関 浩哉	群馬	7.19	2年ぶり2回目
浜名湖	4524	深谷 知博	静岡	6.75	4年連続4回目
平和島	3590	濱野谷憲吾	東京	7.45	28年連続28回目
蒲郡	4586	磯部 誠	愛知	7.41	5年連続6回目
常滑	4337	平本 真之	愛知	6.96	15年連続15回目
津	4024	井口 佳典	三重	6.92	2年連続17回目
住之江	3415	松井 繁	大阪	7.37	2年連続30回目
尼崎	3854	吉川 元浩	兵庫	7.54	12年連続18回目
下関	3897	白井 英治	山口	7.80	2年ぶり16回目
若松	3783	瓜生 正義	福岡	7.24	6年連続24回目
芦屋	4831	羽野 直也	福岡	7.50	7年連続7回目
芦屋	4504	前田 将太	福岡	7.31	3年連続6回目



マスターズチャンピオンで存在感を示した井口佳典

数々のSG制覇歴を積み重ねてきたベテランと、SG1回組、さらにSGVが目前に迫る選手がひしめくのがこのセカンドグループ。

この中で追いかけてみたいのは、丸亀周年連続中の磯部誠。一昨年→昨年とSGは皆勤、昨年のグラチャンに続く2個目のタイトルは手の届くところにある。

関浩哉は、昨年末のグランプリシリーズで1号艇で優出。その絶好のチャンスは逃してしまっただが、直後のBBCトーナメントでは、大村の6コースで3戦連続3着以内で克服して優勝。アウトでの強さは既に艇界でも指折りといえる。

## 意地を見せたい地元トリオ

表1-3 丸亀の地元トリオ

推薦場など	登番	選手名	支部	勝率	出場回数
施行者希望	4459	片岡 雅裕	香川	6.62	3年連続6回目
施行者希望	3908	重成 一人	香川	6.84	2年連続13回目
施行者希望	4030	森高 一真	香川	7.38	4年ぶり14回目

今回の開催場である丸亀からは、地元・香川支部から3人を指名。今や丸亀のエース格と評価を上げてきたのが片岡雅裕だ。かつては“無事故男”として記録マニアの注目度が高かったが、一昨年のこのメモリアル優勝戦で、Fが2人出て6コースから『恵まれ』で優勝。「片岡らしい」と評判になったが、結局この年だけでSG4優出。さらに昨年は甲子園とチャレンジカップでも優勝を飾り、評価は不動のものとなった。

今年好調なのが森高一真。オールスターでの優出③の他、高いレベルで安定していて、獲得賞金も18位前後にランク。グランプリを狙える位置にいる。昨年勝ちまくった重成一人だが、今年の見せ場は甲子園の優出ぐらい。地元の推薦で奮奮を期待しよう。



今年はグランプリも狙える位置にいる森高一真

表1-5 一発が好配当を呼ぶ!? 伏兵陣

推薦場など	登番	選手名	支部	勝率	出場回数
戸田	4573	佐藤 翼	埼玉	7.33	4年連続4回目
江戸川	3716	石渡 鉄兵	東京	6.78	2年連続16回目
江戸川	3978	齊藤 仁	東京	6.76	2年連続12回目
多摩川	4266	長田 頼宗	東京	6.89	9年連続11回目
蒲郡	3946	赤岩 善生	愛知	7.31	2年連続16回目
津	4344	新田 雄史	三重	7.40	2年ぶり12回目
三国	4013	中島 孝平	福井	6.84	4年連続17回目
びわこ	4502	遠藤 エミ	滋賀	6.84	2年連続6回目
尼崎	3780	魚谷 智之	兵庫	7.09	2年ぶり19回目
鳴門	4685	島村 隆幸	徳島	7.15	2年連続2回目
鳴門	4028	田村 隆信	徳島	6.50	6年連続21回目
児島	4166	吉田 拓郎	岡山	7.02	4年ぶり8回目
宮島	3719	辻 栄蔵	広島	6.86	3年連続17回目
徳山	3942	寺田 祥	山口	7.24	3年連続22回目
徳山	4361	柳生 泰二	山口	6.98	2年連続2回目
下関	4237	大峯 豊	山口	7.18	2年連続4回目
若松	4371	西山 貴浩	福岡	7.10	7年連続11回目
福岡	4477	篠崎 仁志	福岡	7.09	9年連続10回目
福岡	4350	篠崎 元志	福岡	7.10	6年連続14回目
大村	4352	下條雄太郎	長崎	6.89	7年ぶり5回目
大村	4715	村上 遼	長崎	6.83	2年ぶり2回目
第29回オーシャンカップ(大村)優勝者					
予備1	4044	湯川 浩司	大阪	6.94	
予備2	4787	椎名 豊	群馬	6.77	
予備3	4296	岡崎 恭裕	福岡	6.87	

## 好配当ならダークホースの活躍を!!



今春の四国地区選を丸亀で勝った田村隆信

配当的な魅力のある伏兵的存在の選手もピックアップしておこう。

まずは隣の鳴門推薦の田村隆信・島村隆幸両選手。田村の選考期間勝率は出場選手中ワースト。しかし2月に当地で行われた四国地区選では混戦をさばいて優勝。マスターズ世代となったが、まだまだ元気なところをアピールしたい。島村はそろそろ徳島の新エースとしての勲章をつける時期だ。



下條雄太郎は宮島GIIで3万5千円超の大穴を出して優勝

このメモリアルは連続出場が多い大会だが、逆に数年ぶりの選手を狙う“逆転の発想”はどうか? 吉田拓郎は4年ぶりの出場となるが、先日のオーシャンカップでも伸びを上々に上げていた。下條雄太郎は7年ぶり。3月の宮島MB大賞では大外一気まくりを決め、初のGIIをゲット。今節も果敢なスタートで高額配当を期待したい。

# BOAT RACE MEMORIAL

## 最近の丸亀水面で好走が目立つのは 磯部誠・馬場貴也・白井英治ら 長期実績では毒島誠が断然!!

表2 出場選手 丸亀・過去3年の勝率順ランキング

順位	登番	選手名	勝率	出走回数	優出	優勝
1	4586	磯部 誠	9.44	16	2	1
2	4320	峰 竜太	9.30	20	2	1
3	3941	池田 浩二	8.84	19	1	1
4	4238	毒島 誠	8.75	24	2	2
5	4504	前田 将太	8.71	14	2	2
6	3897	白井 英治	8.44	55	5	3
7	4851	関 浩哉	8.38	26	2	1
8	4262	馬場 貴也	8.27	33	2	1
9	4205	山口 剛	8.14	35	2	0
10	4418	茅原 悠紀	7.78	9	0	0
11	4459	片岡 雅裕	7.73	140	8	2
12	4028	田村 隆信	7.69	16	1	1
13	3946	赤岩 善生	7.64	47	3	0
14	4024	井口 佳典	7.57	37	3	1
14	4344	新田 雄史	7.57	28	1	1
16	4168	石野 貴之	7.54	26	2	2
17	3590	濱野谷憲吾	7.47	19	1	0
17	4444	桐生 順平	7.47	17	1	0
19	4352	下條雄太郎	7.44	32	0	0
20	5121	定松 勇樹	7.31	16	1	1
21	3716	石渡 鉄兵	7.25	16	1	0
21	4166	吉田 拓郎	7.25	24	2	0
23	4477	篠崎 仁志	7.22	9	0	0
24	3780	魚谷 智之	7.17	35	1	0
25	4361	柳生 泰二	7.16	31	1	0
26	4030	森高 一真	7.15	163	7	3
27	4719	上條 暢嵩	7.14	37	2	1
28	3854	吉川 元浩	7.11	18	1	0
28	4013	中島 孝平	7.11	9	0	0
30	3415	松井 繁	6.59	27	0	0
31	3978	齊藤 仁	6.57	46	2	0
32	3960	菊地 孝平	6.56	9	0	0
33	4847	佐藤隆太郎	6.40	20	1	0
34	3719	辻 栄蔵	6.39	18	0	0
35	3908	重成 一人	6.26	110	3	0
36	4685	島村 隆幸	6.23	40	1	0
37	4350	篠崎 元志	6.22	9	0	0
38	4237	大峯 豊	6.21	19	1	0
39	4961	西橋 奈未	6.18	22	0	0
40	4939	宮之原輝紀	6.13	16	0	0
41	4445	宮地 元輝	6.09	33	2	0
42	3942	寺田 祥	6.00	9	0	0
42	4573	佐藤 翼	6.00	18	0	0
44	4371	西山 貴浩	5.89	9	0	0
45	4337	平本 真之	5.67	18	0	0
46	4715	村上 遼	5.57	14	0	0
47	4266	長田 頼宗	5.39	18	0	0
48	4524	深谷 知博	3.88	8	0	0
49	3783	瓜生 正義	0.00	0	0	0
49	4502	遠藤 エミ	0.00	0	0	0
49	4831	羽野 直也	0.00	0	0	0



磯部 誠にとって丸亀は出世水面といえる

丸亀でのSGは6年ぶりとして、最近3年の好走選手はマークしておきたい。昨年12月の71周年を制したのが馬場貴也。初日ドリーム戦を鮮やかに差し切り、その後も危なげなくオール3連対で完勝した。

同周年で優出④だった磯部誠は、一昨年11月の70周年では優勝している。それまでヤングダービーや地区選は勝ったことがあったが、周年制覇はこの時が初。この優勝でグランプリ行きを当確にしてステップアップに成功。さらに昨年のグラチャン制覇にもつなげ



丸亀を走る機会が多く、毎節好走している白井英治

たといっても良い。いわば出世水面だ。

白井英治は遠征勢の中では飛び抜けて出走機会が多い。記念では70周年優出⑤ぐらゐの実績だが、一般戦では常に優勝に絡んでいる。地元勢では片岡雅裕が70周年で準優勝。重成一人や森高一真には周年優勝歴が2回ずつあるが、かなり前のことになる。

しかしながら長期的なスパンで見たら、圧巻というべきなのが毒島誠の強さだ。13年の当地メモリアルでSG初優勝を飾り、18年もやはり当地開催のメモリアルでは

表3丸亀・最近の大レースで優出歴がある選手

選手名	GⅡ以上優出歴
馬場 貴也	71周年①、21甲子園④
磯部 誠	71周年④、70周年①
毒島 誠	21甲子園①、(18年メモリアル①)
田村 隆信	24四国地区選①
峰 竜太	21甲子園②
片岡 雅裕	70周年②
井口 佳典	69周年④、(18年メモリアル④)
桐生 順平	21甲子園⑤
吉田 拓郎	71周年③
篠崎 仁志	(18年メモリアル③)
白井 英治	70周年⑤
山口 剛	70周年転

第1走の3着以外は7連勝で無敵の強さを見せた。その後も21年の甲子園では峰竜太・馬場・桐生順平らを完封。そして今年の5月には一般戦のあっせんが入って7戦6勝で優勝。今回使用するエンジンの感触も確かめているはずだ。

その一方で、表2のランキングで40位以下の選手は不安残りといえそう。総じて九州勢はあまり相性が良くなく、瓜生正義や羽野直也にとつては久々の水面となる。

\*集計期間:2021/7/1~2024/6/30

<b>38</b> 号機	評価 <b>A</b>	<b>20</b> 号機	評価 <b>A</b>	<b>44</b> 号機	評価 <b>S</b>	<b>7</b> 号機	評価 <b>S</b>	<b>56</b> 号機	評価 <b>S</b>
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
<b>40.8%</b>	→	<b>41.3%</b>	↑	<b>35.1%</b>	↓	<b>45.0%</b>	→	<b>44.2%</b>	↑
初下ろしからずっと上位級で1着数は1位。ただ、成績もパワーもズバ抜けた点がなくエース機にはなれず。		昨年12月の記念V機。この節が初優出初Vでその後は5月まで優出ゼロ。ところが、5月以降は4連続優出中。		中間整備後の10節で5優出V2。伸びも超抜で満を持してエースに昇格したが、試運転中の転覆で急降下…。		5優出V1と高いレベルで平行線。一般戦では選手勝率以上に稼ぐ出足型機だが、なぜか大レースでサッパリ。		使用13節目で初優出。その後9節で5優出V1、デビュー1年の水谷理人を初Vに導いた。万能型の注目機。	
<b>23</b> 号機	評価 <b>B</b>	<b>15</b> 号機	評価 <b>B</b>	<b>31</b> 号機	評価 <b>B+</b>	<b>18</b> 号機	評価 <b>A</b>	<b>26</b> 号機	評価 <b>A</b>
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
<b>42.6%</b>	→	<b>38.4%</b>	→	<b>38.6%</b>	→	<b>41.7%</b>	→	<b>43.0%</b>	↗
使用21節でA1級が7人、A2級が4人。乗り手で稼いだ勝率の印象で、6優出しているが優勝に届かず。		初下ろしから伸びが強く最初のエース機候補。ところがGIでは目立たず、その後は事故も重なって中堅上位。		優勝、優出回数ともに単独1位。昨年12月の記念でも優出して中堅上位はあるが、なぜか2連対率40%未満。		2回のVは出足、行き足で節イチ。伸びは普通でハデさはないが実戦で強い。7月は未勝利で勝率ダウン。		2回の優勝は出足の鋭さが印象的。2回あったGIでも強めの動きだったがエース機には届かない準エース格。	



現エンジンは昨年9月末から使用して10か月が経過。SGの2節後が使い納めとなる。ポーターは7月に更新して6節目と新しい。

初下ろしから2月の四国地区選手権までは伸びの15号機、実戦足の38号機、勝負強い31号機がエースの座を争った。ところが、昨年12月の71周年記念、地区選の2回のGIの両方でアピールできずに仕切り直し。記念を優勝した20号機はその後5月まで優出がなく、地区選を優勝した6号機はそもそも上位級でもなかった。

地区選後から春にかけては44号機一色だった。中間整備でギアケイス、キャリアポデーが換わってワースト機が大化け。3月の企業杯で濱野斗馬が地元初V、4月に西岡顕心がデビュー初Vを飾った。2連対率22・6%から6月に

**56号機・26号機・7号機が現在の3強  
お盆開催の気配は要チェックだ!!**

は38・1%まで上昇して『21年のスーパーエース64号機の再来か』と話題を集めた。ところが、試運転中に転覆があったから気配急降下。最近の選手のコメントも中堅前後だ。

現在は水谷理人がデビュー1年で初優勝を飾った56号機、温水パイプが外れてから2回の節イチ級がある26号機、2連対率1位の7号機が『3強エンジン』として並び立つ。22年のレディースチャンピオンで優勝戦1号艇だった實森美祐のエンジンは、2連対率は平凡だったが前節のVエンジンだった。夏場はエンジンの実績、数字よりも前操者・2節前の気配を重視した方がよい。今年にはSGの直前がお盆戦なので、そのシリーズは要チェックとなる。

(スポーツニッポン 金田拓朗)